

光明寺だより

第81号

浄土真宗本願寺派
光明寺

〒793-0030 西条市大町550

TEL 0897-53-4583



心に残る詩

出遭い

なかなか

遭えることじゃないのに

深いご縁を 恵まれて

あなたに

遭えてよかった

いのちといのち

心と心のふれあった

あなたとの出遭いに

ありがとう…



— 愛媛県仏教婦人研修大会 —

3月7日(木) 午後1時～3時30分

【会 場】 西条市総合文化会館大ホール

【講 演】 医療法人精光会理事長

宮崎幸枝先生

◆参加費 500円

◆申込締切 2月末日

著書『お浄土があつてよかったね』

- 医者は坊主たれ -



ものみな金色こんじきなり

毎年、その年の世相を表わす漢字が公募によって選ばれますが、昨年（平成24年）は「金」という漢字が選ばれました。

選ばれた理由は主に次の三つが挙げられています。

①多くの「金」字塔が打ち立てられたということ

ロンドンオリンピックで史上最多となるメダル（38個）の獲得や山中伸弥氏（京都大学教授）がIPS細胞の研究成果によりノーベル賞受賞、さらには自立式電波塔として世界一の高さ（634m）となる東京スカイツリーの開業、といった、様々な分野で金字塔が打ち立てられました。

②「金」環日食をはじめ天体ショーの当たり年であったということ

③政治・経済で「金（かね）」の問題が表面化したということ

主催者の漢検（漢字能力検定協会）では「漢字は一字で多様な意味を伝えることができ、世界でも数少ない文字です。今回はそ

の表意文字としての特性が色濃く反映された結果となった」と分析しています。

ところで「金」は仏教でも大変なじみのある色で、「尊いもの、大切なもの」の象徴として大切に扱われてきました。

たとえば、仏さまのお姿の大きな特徴の一つに「金色の相」というものがありますが、これは、仏さまの尊さを金色によってあらわしているのです。

また、阿弥陀さまには「悉皆金色の願」ということが誓われています。

これは、阿弥陀さまのさとりの世界である浄土では、すべての「いのち」が金色に光り輝いており、一つとして輝いていない「いのち」はない、一つとして無駄な「いのち」はないと、誓って下さっているのです。

さとのりの世界から見れば、すべてのいのちは本来金色に輝いているのです。

長年、京都女子大学で仏教学を教えてこられた徳永道雄先生（京都女子大学名誉教授）は、一年間の最後の授業で、このような阿弥陀さまの願いの心を説明され、学生さんたちに、「すべてのいのちは、いついかなる時でも金色に輝いている」という意を込めて、「ものみな金色なり」と、ノート一面に大きな字で書かせ、この言葉を社会に

出て行く彼女たちへの「はなむけの言葉」とされてきました。

ある時、教え子の一人から手紙が寄せられました。

その教え子というのは、卒業後、結婚され、やがて待望の赤ちゃんに恵まれますが、そのお子さんは生まれながらにして重い障害を抱えていたのです。

最初は二人で頑張つて育てていましたが、次第に夫婦仲もこじれ、二人は別れることになりました。

お子さんと二人暮らしになった彼女は、一生懸命頑張りました。しかし障害者への世間の目は冷たく、時には心ないことを言われることもありました。彼女はほとほと疲れてしまい、とうとう「もうだめだ。この子と二人で死ぬしかない」とまで思い詰めるのです。

呆然としたまま身辺整理をしていたところ、たまたま大学時代のノートが目につき、何気なくペラペラとめくってみると、ノートいっぱい「ものみな金色なり」と書かれた文字が眼に飛び込んで来たのです。

その言葉は絶望の淵に沈んでいた彼女の心に深



く染み入りました。そうして、あの時、聞いた徳永先生の「いついかなる時でも、いのちはみんな金色に輝いている」という言葉が鮮やかに脳裏に蘇ったのです。

「そうだった、そうだった。障害を持って生まれた我が子のいのちは、金色に耀く尊いいのちであった。この子は今、そのいのちを精一杯輝かせて懸命に生きているんだ」彼女は大粒の涙を流しながら、我が子を強く強く抱きしめました。

例えば、私たち人間は、さまざまな経験や知識を通して自分なりの「ものさし(価値観)」というものを確立してきました。

しかし残念ながら、その「ものさし(価値観)」は、自分にとって都合の良いものを「よし」とし、そうでないものを排除するといふ、身勝手な「ものさし」です。

当然、「いのち」も同じように、自分にとって都合の良い「いのち」と、都合の悪い「いのち」に分け、その上で…たとえば害虫や雑草を駆除するように、都合の悪い「いのち」を排除していくのです。

そうしなければ生きていけないからです。この若いお母さんも、知らず知らずのうちにそうした「ものさし(価値観)」で我が子を見ていたのです。

悲しいことですが、私たち人間はこの「も

のさし」を生涯、捨てることは出来ません。いつでもどんな時でも、このものさしを使って、ものを考え、判断し、行動しているのです。

ですから、そのようなものさしを持たずにおれない、そうして持つことによって周りを傷つけずにはおれない、そんな人間の愚かさ、悲しさに目覚めるには、どうしても、「ものさし」のいらぬ世界からの働きかけが要るのです。

浄土真宗では、この「ものさし」のいらぬ世界を浄土(阿弥陀さまのさとりの世界)と申しているのです。

彼女は「ものみな金色なり」という言葉によって、自らの間違いに気づきましたが、これは、まさに浄土の世界(ものさしのいらぬ世界)からの働きかけによるものです。障害を抱えたこのお子さんは、無量壽と呼ばれる浄土の世界から、彼女のところに生まれて下さった仏さまだったのです。

ともすれば私たちは、自分の願いをかなえてほしいと仏さまに願いをかけますが、そうではなくて、阿弥陀さまから、私にかけられている願いに気づいて、それを拠りどころにして生きていくということが最も大切なことです。

「ものみな金色なり」と願われた阿弥陀さ

まの願い…それは「この世界に存在するすべてのいのちはあなたにとって、なくてはならないものです。ものみな仏さまなのです。だからそのようにいただいてこの人生を精一杯歩んでくださいね」という大悲のお心なのです。

今、改めて周りを見渡せば、あの人もこの人も、すでに先立ったあの方もみんなみな私にとって、なくてはならない仏さまだったのです。

まさにこの世界は、「ものみな金色」であります。



— 悉皆金色の願 —

〔経文〕 設我得仏国中天不悉真金色者不取正覚
〔読み下し〕 たとひわれ仏を得たらんに、国中の
人・天、悉く真金色ならずば、正覚を取らじ。
〔意訳〕 私が仏になる時、私の国の人々がすべて
金色に耀く身となることが出来ないようなら、
私は決してさとりを開きません。

別離の年の出来事

2013年(平成25年)
年回表

お法事は亡き人を偲び、日頃忘れかけているいのちのつながりの深さに思いをいたし、この私が仏縁に遭わせて頂くための大切な仏事です。別離の年、どんな出来事があったか、改めて振り返ってみましょう。亡くなってから1年目の法事は1周忌、2年目は3回忌、6年目は7回忌12年目は13回忌となっていきます。

1周忌 平成24年 (2012)	「政権交代」2月オウム真理教平田信逮捕。5月金環食観測。東京スカイツリー開業。6月オウム真理教高橋克也逮捕。7月ロンドンオリンピック開催9月中国全土で反日デモ発生。10月東京駅舎保存復元山中伸弥教授ノーベル賞12月自民党政権奪回
3回忌 平成23年 (2011)	「東日本大震災」2月八百長問題で大相撲春場所中止。3月11日午後2時46分頃東北大震災発生。死者行方不明者約2万人。福島第一原子力発電所で原子力事故発生。10月タイの大規模洪水発生で日系企業操業停止相次ぐ。
7回忌 平成19年 (2007)	「郵政民営化」3月不二家をはじめ各食品メーカーの偽装事件発覚。3月第1回WBC開催。日本が初代王者に。6月サッカーW杯がドイツで開催。9月安倍晋三内閣成立。10月郵政民営化。北朝鮮が核実験実施。11月佐世保散弾銃乱射事件。
13回忌 平成13年 (2001)	「同時多発テロ」1月ブッシュ氏が大統領に就任。2月宇和島水産高校の実習船がハワイ沖で米海軍潜水艦と衝突し沈没。4月小泉純一郎内閣成立。6月大阪池田小学校に男が乱入。9月米国で同時多発テロ発生。国内で狂牛病感染。12月皇太子夫妻に敬宮愛子さまご誕生。
17回忌 平成9年 (1997)	「神戸殺傷事件」2月神戸で小学生殺傷事件が発生、中3男子が逮捕。4月消費税が3%から7%に引き上げ。6月臓器移植法が成立。7月香港が中国に返還。8月ダイアナ妃交通事故死。11月ハワイ出身大関小錦引退。12月介護保険法成立。韓国大統領選で金大中氏当選。
25回忌 平成元年 (1989)	「消費税導入」1月昭和天皇崩御。「平成」に改元。2月手塚治虫氏死去。3月女子高生コンクリート詰め殺人事件。4月税率3%で消費税導入。6月天安門事件。ビルマの国名をミャンマーに変更。9月千代の富士国民栄誉賞受賞。11月ベルリンの壁撤去始まる。
33回忌 昭和56年 (1981)	「日本初ノーベル化学賞」2月ローマ法王初来日。4月米がスペースシャトル「コロンビア」初飛行に成功。7月英国チャールズ皇太子、ダイアナ妃と結婚。8月台湾で航空機墜落、向田邦子氏ら死者110人。10月福井謙一(京大教授)が日本人初のノーベル化学賞を受賞。
50回忌 昭和39年 (1964)	「東京オリンピック」2月ビートルズが初訪米。富士航空機墜落事故。3月ライシャワー米大使日本人少年に刺され負傷。6月新潟地震発生。死者26名。10月東京オリンピック開催。

新春法座開催！



1月11日（金）午後4時より、藤田徹文先生（広島・光徳寺前住、元本願寺伝道部長）をお招きして「新春法座」を開催いたしました。浄土真宗にとってのお仏壇、お墓の意義についてお話をいただきました。

【講演主旨】

お仏壇やお墓のお参りは、ご先祖を供養するためにお参りするものではありません。それをご縁にして、この私が「無常の理」に目覚め、「いのち」

のよりどころである阿弥陀さまのお心に出遭うためにお参りをするのです。

お墓の正面には「〇〇家之墓」とするのではなく「南無阿弥陀仏」のお名号を刻するのが浄土真宗の本来のお墓の在り方です。お仏壇もご本尊を中心にお荘厳をします。

時間空間無限の広がりを持つこの世界で、ありとあらゆるものを生かし続けているハタラクを「アミダ」と言います。ご先祖も私たちもそのハタラクに生かし続けられているのです。この世界（法界）の真理（真如）に目覚めるご縁にしてい、それがお仏壇であり、お墓なのです。



「除夜の鐘・元旦会」厳修！

12月31日、午後11時45分頃より年末恒例の除夜の鐘を撞きました。引き続き、本堂にて元旦会を行い、参拝者の皆さんと共に新年を迎えました。今年は、「ものみな金色」というお話を致しました。詳細は本紙「一口法話」に掲載しております。ご一読ください。



趣味の広場



俳句を楽しむ(六十)

森本隆を



遅まきながら新しい年を迎えた。ご挨拶を申し上げます。今年もよろしくお願ひします。とは言え既にもう二月。世の中は騒々しく日を重ねています。自民党が政権復帰し景気浮揚の鐘をジャンジャン鳴らしてはいるものの、国境近辺の島や領海にちよっかいを出してくる者、アルジェリアに於けるテロ事件、と連日話題に事欠きません。地元西条市でも市議選が早まり昔風に言えば世情騒然といったところでしょうか。まあそれはそれとして
二月十一日は「建国記念の日」です。近頃街並みを氣を付けて見ていると祝祭日に国旗を立てている家を、少しですが見かけるようになりました。建国の日くらいは日の丸を多く見たい氣がします。
箸という文化が不思議建国日 林 翔
草の根に日のゆき渡る建国日 三田きえ子
建国の日やふつくと枕干し 加瀬美代子
この建国記念日の頃になると、体感的にはまだまだ寒さ厳しいものの、よくよく観察すると二句めのような「日ざし」や三句めの「ふつくと干された枕」などに春の兆しが感じられ始

めますね。木の芽、草の芽の動きなど、確かに春に近づいています。

この時期、即ち二月を代表する花に梅の花があります。古くは「春告草(はるつげぐさ)」とも称され、いち早く春の到来を告げる花として、古来日本人に好まれ詩歌や絵画の対象となってきました。

盆梅が満開となり酒買ひに 皆川 盤水
白梅にみどりさ走る夕べかな 成瀬桜桃子
紅白の梅美しき終の家 新川千恵子
村々に梅咲いて山嫌嫌よし 大串 章

これらの句は梅の花に到来したことを感じ、長かった冬の寒さからいよいよ解放される大いなる喜びを、俳人それぞれの感性に従って詠んでいます。酒を買いに外に出てみたり、自分の家をつくづく眺めてみたり、周囲の山々まで機嫌よさげに見えたりとなかなか感性の豊かな人達だなと思います。もともと、春の季語に「山笑ふ」というのもあります。山々の草木が新芽を出し始め、ま冬の枯色からうつすらと色を浮かべ明るい感じになった様子を、山笑ふ、といったのですね。梅の花も終わりに近くなるといよいよ春も本格的になつてきます。

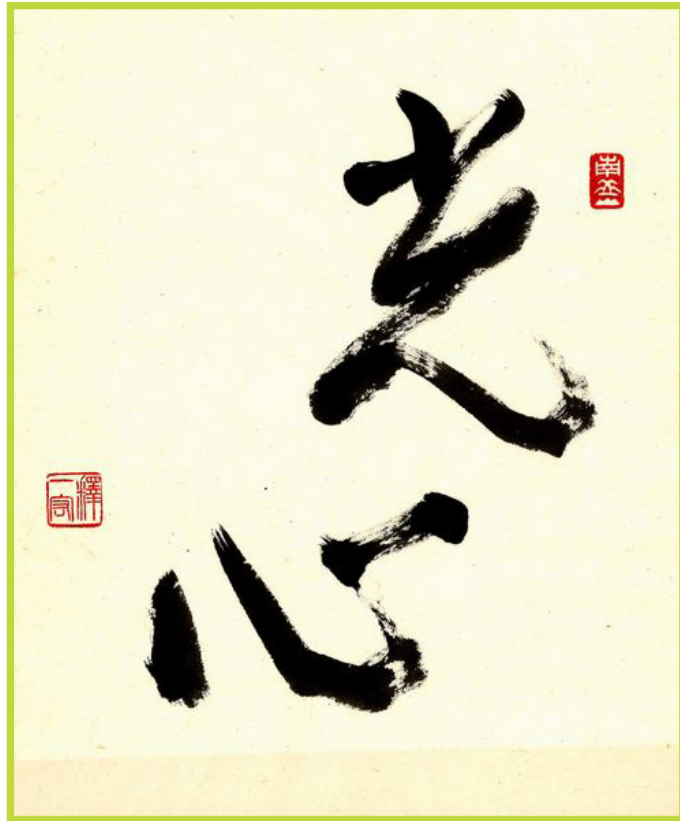
梅が散るほうれん草の畑かな 清崎 敏郎
風少しあり梅の香を運ぶほど 稲畑 汀子
床の間で咲きて散ちりたる梅の花 高木産風
また早春は猫の発情期でありこの時期の宵ごろ家の内外で赤ん坊の泣声のような、猫の鳴声がよく聞こえます。猫は古くから人に飼われ愛されていたのですが、卑俗なものとされ和歌や連歌に

は詠まれませんでした。「猫の恋」は俳諧の世界で発見された季の言葉で、季語として「猫の恋」以外にも「猫の妻」、「猫の夫」、「恋猫」、「浮かれ猫」などがあります。

書きかけの原稿跨ぐ恋の猫 神蔵 器
恋猫のこゑ酔酩酊の中にあり 増田 斗志
決斗によき月明かり猫の恋 山内 遊糸
どの句も、可愛らしくも真面目で必死な猫の姿がおもしろく読まれています。ちなみに二月二十二日は「猫の日」とされています。何となく時期的にも鳴き声的にもピタリの時期だという感じですね。もちろん、「猫の日」は季語ではありません。



位職書作品



光心

光、それは生きる希望の灯です。
光、それは温もり安らぎです。
光、それは闇を晴らすものです。
そんな心を持った方を仏さまと呼ぶのです。

BOOK 本



発行所 樹心社
著者 宮崎幸枝
定価 2000円+税

本書は、医者であり念仏者である著者が、みやざきホスピタルの機関誌『ようこそ』に書き綴ってきたものをまとめたものです。医療現場でお念仏の教えが見事に生かされています。

死を目前にした患者さんと著者の会話です。

著者「Tさん、お念仏はね、仏さまが（私を頼りにしておくれ。必ずお浄土に迎えて、仏さまにするよ）」という仏さまのお声なのよ。仏さまはTさんを抱っこして下さっているのよ。心配ないのよ」患者「うん」

筆者「お浄土があったよかったね。私も後から必ず往きますからね。一緒にお念仏しましょ」

―ナマンダブツ、ナマンダブツ・・・

著者は「病院は人間に生まれた価値、人生の真の意味とは何なのかという問いが渦巻いているところであり、その解決がなされなければ、生きることも死ぬことも出来ない、それが本当の人間の姿である。そうしてその解決の道は仏法にある」と語っています。

彼岸会法座

3月30日(土)

- ★おつとめ 1時30分
- ★おはなし 2時

【講師】大阪・法栄寺前住
小林顯英師

おねはん 狸繁会

3月15日(金)

- 第1回目 9時～10時
- 第2回目 11時～12時
- 第3回目 13時～14時

★該当者にはご案内をお送りしています



言葉のプレゼント

むずかしいことをやさしく
やさしいことをふかく
ふかいことをおもしろく
おもしろいことをまじめに
まじめなことをゆかいに
そしてゆかいなことは
あくまでゆかいに

いのうえひさし



光明寺のホームページ

<http://www.koumyouji.com/>

南岳山光明寺

または

西条光明寺

検索



「光明寺だより」をご家族の皆さんで
お読みください

次回発行予定…5月上旬



★1月11日(金)午後4時より、新春法座が開催されました。30名の参加者がありました。

★これまで本紙編集に「ページメーカー」というソフトを使っていましたが、新しいパソコン(ウインドウズ7)に対応しないため、新たに「インデザイン」というソフトを導入しました。不慣れなため、編集に悪戦苦闘しています。

★副住職夫婦に新しいいのちが授かりました。予定は9月中旬です。

